

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

黄色塗り部分は決算報告時に記載
(配付申請時は記載不要)

【様式1】

令和2年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】配付申請書

(校園コード)

※校園コードを入力してください。

学校名

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

1 配付額 円 → 決算額

2 配付上限額

学校配当		学級数		特別支援学級数		学級配当
350,000	+	12学級	+	4学級	×	30,000
※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。						
配付上限額						
=	830,000					

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

＜全市共通目標＞

小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

学校教育力と外部の教育力を連携させ、多様な体験学習により、生きた学力を身につけることができるようにする。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

①地域や外部の方、外部の施設を活用した学習を、各学年1回以上実施する。

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

学力の向上が本校の課題である。昨年度は、国語科を研究教科とし、全員が国語の授業研究を行った。その結果、授業改善がかなり進められ、学力経年調査の結果にも、その成果が表れてきた。今年度は算数科を中心に授業研究をすすめ、主体的、対話的で深い学びの算数の授業に取り組む。そして、学力経年調査の結果に、結び付けたい。また、外部の教育力を生かし、生きた学力を身につけることにも、引き続き取り組んでいく。今年度も、地域の方に来ていただいた学習、地域の施設を生かした学習、外部講師を招いての学習と、多様な体験学習を通して、生きた学力を身につけられるようにしたい。

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 学校教育力と外部の教育力を連携させ、多様な体験学習により、生きた学力を身につけるようにする。 ①予算内訳 7-1 そろばん講師謝礼 10,000 7-1 活動体験謝礼（昔遊び・自然工作） 30,000 7-1 英語活動講師謝礼 98,000 10-1 昔のくらし体験材料費 41,400 10-1 植栽用花苗 29,200 8-5 社会見学旅費 14,000 13-1 キッズニア入館料 6年 197,400 11-1 社会見学児童乗車料 110,000 12 演劇鑑賞委託料 300,000 計 830,000円	事務局使用欄	達成
②決算内訳		

(2)取組内容【施策番号 施策名】 	事務局使用欄	達成
①予算内訳		
②決算内訳		

(3)取組内容【施策番号 施策名】 	事務局使用欄	達成
①予算内訳		
②決算内訳		

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。
 事務局使用欄は空欄としてください。